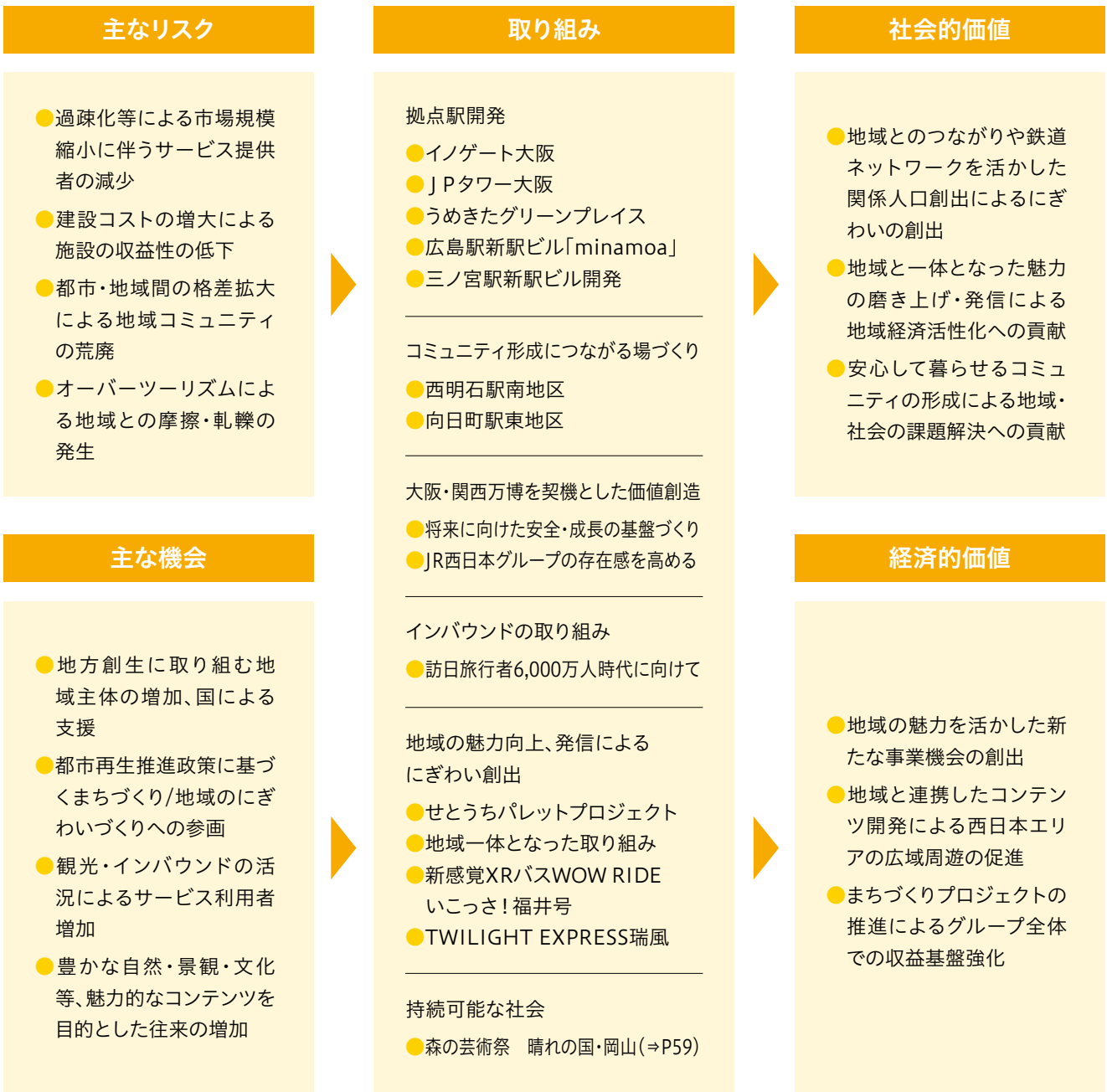


人々が行きかう、いきいきとしたまち

人々が行きかう、いきいきとしたまちに対するJR西日本グループの考え方

JR西日本グループは、人口減少や少子高齢化が進む社会環境において、西日本エリアを起点に人や企業の活動・交流を活性化することにより地域の価値を高めることが、地域や当社グループにとって重要な課題であると認識しています。当社グループは地域共生企業として、地域の多様なパートナーの皆様と共創しながら、公共交通を基軸としたまちづくりやコンテンツの開発など、沿線地域の活性化に取り組んでいます。

これらを通じて、地域の魅力が高まり、定住・交流・関係人口が増加していく未来の実現に貢献していきます。



マテリアリティに対する主な取り組み

拠点駅開発



●イノゲート大阪
・商業施設「バルチカ03」
・オフィス
貸会議室、フレキシブルオフィス

2024年7月開業

大阪駅改札口(西口)に直結、多様化するワークスタイルに対応するオフィスエリアを備えた駅ビルを開発。また周辺施設とは2階連絡通路で接続し、高い利便性を有する



●JPタワー大阪
・商業施設「KITTE大阪」
・劇場「SkyシアターMBS」
・ハイクラスホテル
「大阪ステーションホテル」

2024年7月開業

西日本最大級のオフィスや、商業施設と劇場、グループの象徴的なホテルを設け、大阪駅周辺のにぎわい創出に貢献する

※日本郵便株式会社、株式会社JTとの共同事業

うめきたグリーンプレイス

2025年3月開業

うめきた2期エリアの玄関口として、みどり豊かな駅ビルと駅前広場が誕生、歩行者連絡デッキがつながり、エリア全体のさらなる価値向上に寄与する

広島駅新駅ビル開発・商業施設minamoa

2025年3月開業

新駅ビルによるにぎわいづくりに併せ、路面電車のJR改札口への乗り入れなど交通ネットワークの利便性向上により、まちの魅力を高める

三ノ宮駅新駅ビル開発

2029年度開業予定

神戸の魅力を発信する新駅ビルの開発と共に、行政や周辺事業者と連携した歩行者ネットワークの構築、周辺まちづくりにより、エリアの拠点性を高める

コミュニティ形成につながる場づくり

行政や周辺事業者などとの連携や、JR西日本の交通ネットワークの強みを活かして、拠点駅以外でもまちづくりを推進しています。

めざす姿

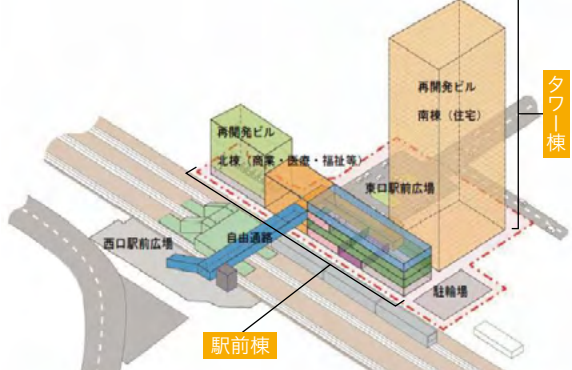
明石市との連携による「地域課題の解決」と広域鉄道ネットワークを活かした「便利で住みよいまち」の一体的実現



西明石駅南地区

めざす姿

多様なスタートアップや最先端企業の集積による「働きたいまちづくり」



向日町駅東地区

大切にしている価値観

トップメッセージ

めざす未来に向けた価値創造プロセス

JR西日本グループのマテリアリティ

コーポレート・ガバナンス

データ集

大阪・関西万博を契機とした価値創造

将来に向けた安全・成長の基盤づくり

万博来場者輸送への対応

- 新大阪～桜島を結ぶ「エキスポライナー」の運行や、JRゆめ咲線、大阪環状線の増発による円滑な来場者輸送の実現
- 異常時の面的対応、多様な来場者対応などを通じた、安全、安定輸送やCSのさらなる品質向上



駅改良などのハード整備

- 乗り換え駅である弁天町駅改良による、バリアフリー設備の充実および将来の夢洲開発も見据えた乗降需要への対応
- ホーム安全柵の整備(弁天町駅・西九条駅)による安全性向上



弁天町駅

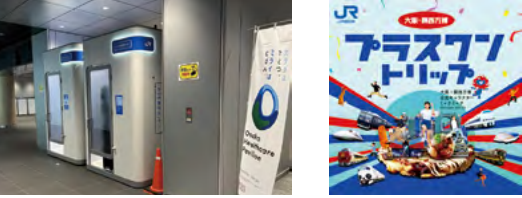
万博会場内オフィシャルストアの出店

- グループ内外との連携を通じた新たな商品開発
- ECや会場外受取などの新しい購買体験の提供



新たな仕組みの構築

- JR WEST LABOを通じた大阪ヘルスケアパビリオンへのカラダ測定ポッドの協賛など、ヘルスケア分野でのオープンノベーションの加速
- プラスワントリップ商品の定着や、tabiwaなどを通じたデジタルツーリズムの加速



カラダ測定ポッド

JR西日本グループの存在感を高める

会場内外における万博プロモーション

- 万博開期前から期間中を通して、大阪駅「時空の広場」や乗り換え駅の弁天町駅「べんてんひろば」において、国内外関係者と連携した万博を盛り上げるイベントを開催



50日前機運醸成イベント

LINQ VISION(時空の広場)

イベント開催(べんてんひろば)

万博会場内ファイナルイベント

©Expo 2025

インバウンドの取り組み

訪日旅行者6,000万人時代に向けて

訪日旅行者数は今後も増加する見通しであり、都市部に集中しているお客様の訪問需要を地方面へ拡大させることが、当社グループにとって重要な課題です。

当社グループでは、今後もより多くのインバウンドのお客様に西日本エリアを訪れていただくため、「西日本エリアの地

域の魅力を拡大すること」、「旅マエ(旅行の検討段階)で西日本を旅行先を選んでいただくこと」、「旅ナカ(旅行中)でのお困り事を徹底的に解消すること」の3点を掲げ、グループ一丸となって取り組みを推進しています。

地域の魅力拡大

西日本エリアには、魅力的でありながらインバウンドのお客様にはまだ十分に知られていない旅行先が多くあります。地域と連携してその魅力をさらに高めていくために、2024年9月に福井県とインバウンドを主眼とした連携協定を締結しました。この協定を通じて、福井県の伝統産業を活用したインバウンドコンテンツの開発や、海外への共同プロモーションなどの取り組みを進めています。

地域の皆様とともに

今後も、地域の課題に寄り添いながら、インバウンド誘客を通じて地域の価値創出に貢献していきます。



旅マエで西日本を選んでいただく

各市場における旅行検討時の情報源としての重要性等を踏まえ、SNS発信の強化および多言語サイトのリニューアルを推進しています。

- <SNS公式アカウント展開状況:2025年10月現在>
- Instagram(英語・韓国語・繁体字・インドネシア語)
- RED・WEIBO・Wechat(簡体字)
- Facebook(英語・繁体字・タイ語)
- YouTubeやTikTokの開設も検討中です。

<多言語サイトのリニューアルについて:2025年10月現在>
2025年3月末にサイトリニューアルを完了し、西日本観光の魅力や鉄道利用方法、キャンペーン情報などのコンテンツを拡充しま

リアルとデジタルを融合したプロモーション

した。外国人のお客様にも分かりやすいデザインへと刷新し、今後はデジタルマップやAIを活用した鉄道旅行計画ツールなど、新たな機能導入を進め、さらなる利便性向上を図ります。

旅行博や現地での営業活動では、お客様の声を直接把握するとともに、多言語サイトの案内やSNS連携を積極的に行い、リアルとデジタルを融合したプロモーションを強化することで、西日本への誘客促進に取り組んでいきます。



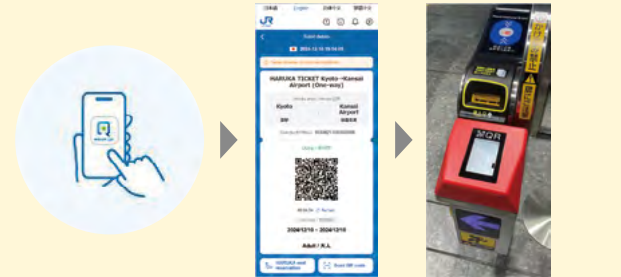
旅ナカのお困り事を解消

インバウンドのお客様は、言葉の壁をはじめ、さまざまなお困り事に直面しています。こうしたお困り事を徹底的に解消し、西日本を安心して快適にご旅行いただくことが、リピーター化や、周囲への口コミ拡散につながると考えています。

2025年2月からは、インバウンドのお客様向け商品の一部に、お手持ちのスマートフォンでQRコードを表示し、改札をお通りいただける「WEST-QR」サービスを開始しました。訪日前に海外の旅行会社で商品を購入いただくことで、日本で窓口や券売機に並ぶ必要がなくなります。

スムーズで快適な移動を提供

今後も、インバウンドのお客様の声に耳を傾け、安心・スムーズな移動の提供に取り組んでいきます。



地域の魅力向上、発信によるにぎわい創出

せとうちパレットプロジェクト

住みたい、訪れたい、世界に誇るせとうちエリアをめざすプロジェクト

成長可能性の高い観光を“軸”とし、地域や企業の皆様と連携した“好循環なまちづくり”にチャレンジしてまいります。多様なステークホルダーの皆様と共に、美しい島々と海の景観、文化・歴史などのせとうちの資源を最大限に活かしながら、持続可能な地域づくりに向けた取り組みを展開していきます。

顧客価値を高める取り組み

世界の方々が訪れたい魅力あるせとうちエリアをめざし、世界各国の企業ブランディングやプレイスブランディングを手掛ける「サフラン・ブランド・コンサルタンツ」と協働し、せとうちの旅の体験価値を調査・分析し、独自の魅力を追求していきます。

せとうちの認知度向上を目的としたプロモーション活動で

は、訪日外国人向けメディアと連携し、周遊型モデルコースの発信や、せとうちならではの「本物」の観光体験を創出・発信し、旅の目的地としての価値をさらに高める取り組みを展開していきます。

地域価値を高める取り組み

地域の方々が、これからも幸せで豊かに暮らせる地域づくりをめざします。地域や企業の皆様と連携し、地域の担い手を発掘・育成することを目的とした人財プロジェクトを開始したほか、新たな事業が次々に創出する仕組みの構築に向けファイナンスの支援体制の検討を進めています。



サフラン・ブランド・コンサルタンツとの意見交換



人財プロジェクトにて実施した尾道フィールドワーク

地域一体となった取り組み

人々が行きかう、いきいきとしたまちづくりに向けては、沿線地域のそれぞれの特徴にあわせた豊かなくらしづくりが必要不可欠と考え、地域の皆様と共に、誰もが訪れたい、住みたい沿線づくりを進めています。

能登復興に向けた取り組み

令和6年能登半島地震および奥能登豪雨被害からの復旧・復興に向け、七尾線・のちと鉄道線の早期運転再開や、観光列車「花嫁のれん」の運行を再開しました。また、特急「能登かがり火」とのちと鉄道「震災語り部観光列車」で連携したツアーの企画・実施など、「今行ける能登」への段階的な送客に取り組むとともに、地域における取り組みのひとつである「和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会」にも参画しています。また、七尾商工会議所等と連携した駅での臨時販売、「おみやげ処金沢」での能登の銘産品販売、産直オンラインショップでの商品取扱等による地域産品の販路拡大、経済的復興を応援しています。



「花嫁のれん」運行再開当日の和倉駅でのお出迎え

スポーツで地域を盛り上げる取り組み

駅でのメッセージボードの設置やラッピングトレインの運行、「スポンサードゲーム」でのイベント実施などで、地元スポーツチームを応援し、エリアの盛り上げに取り組んでいます。さらに、試合開催時のにぎわいを地域全体に広げていけるような仕組みづくりとして、当社が提供する移動生活ナビアプリ「WESTERアプリ」を活用したスタンプラリーを実施するなど、スポーツチームをはじめ、地域の皆様と一体となった取り組みにより、地域の盛り上げに貢献しています。



広島駅でのメッセージボードの設置（広島東洋カープ）



スタンプラリーの実施

新感覚XRバスWOW RIDE いこっさ!福井号

“XR”で北陸(福井)観光を活性化

福井駅と福井県随一の観光施設である福井県立恐竜博物館を結ぶ直行バスとして、「新感覚XRバスWOW RIDE いこっさ!福井号」を運行しています。車内では拡張現実(AR)・仮想現実(VR)映像によって、恐竜の世界をはじめ、福井県の歴史や文化などが映し出されるほか、映像中の登場人物と話せるAI対話システムも搭載しています。これらの最新の技術によって、座っているだけで仮想世界への没入感を味わうことができます。

導入の背景として、2024年3月に北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業しましたが、福井県では主要観光地が点在しており、新幹線開業効果を最大化するためにも各地への二次アクセスの整備が重要となっていました。そこで福井県立恐竜博物館をはじめとした福井県における主要観光地への直行公共交通機関として2024年6月にXRバス事業をスタートしました。

XRバスの導入により、福井県における主要観光地の中でも、とりわけ福井駅と福井県立恐竜博物館との間では、所要時間の短縮に貢献し、二次アクセスが改善されました。また、恐竜をはじめとした福井県の歴史や文化といったコンテンツの理解促進やメディアを通じた福井県の魅力発信の一翼を担っています。

さらに、福井県の魅力発信や乗車自体を目的とするお客様の獲得といった、XRバスを通じた福井県への誘客促進により、北陸新幹線のご利用拡大に貢献しています。



TWILIGHT EXPRESS 瑞風



防府駅での歓迎の様子



2026年3月以降の運行ルートイメージ



沿線の魅力発信と地域活性化を使命とするフラッグシップトレイン

「美しい日本をホテルが走る。～上質さの中に懐かしさを～」をコンセプトに、こだわりの「車両」「車窓」「食事」そして「沿線の魅力」をクルーたちの一流のホスピタリティでご案内。お客様お一人おひとりに特別な旅を提供する列車として2017年から運行しています。お客様にご満足いただく最高のサービスを提供するとともに、地域と共に歩む当社の使命として、沿線の伝統工芸などを取り入れた車内の設え、著名な沿線料理人による地域食材を活用した監修料理、地域の皆様と作り上げる特別感ある立ち寄り観光など、瑞風の運行を通して、

沿線の魅力や製品の発掘・発信、それによる地域の活性化をめざしています。今後さらなる新しい価値提供、波及効果の拡大のため、立ち寄り観光地の順次見直し、インバウンドのお客様の受け入れ拡大、2026年春には琵琶湖をめぐる新しいコースの運行開始を予定するなどブラッシュアップを重ねています。これからもお客様や地域に喜んでいただけるJR西日本グループのフラッグシップトレインとして歩みを進めてまいります。

大切にしている価値観

トップメッセージ

めざす未来に向けた価値創造プロセス

JR西日本グループのマテリアリティ

コーポレートガバナンス

データ集